

2021年5月14日

各 位

会社名 株式会社協和エクシオ
 代表者名 代表取締役社長 船橋 哲也
 (コード番号 1951 東証第1部)
 問合せ先 取締役常務執行役員経営企画部長 三野 耕一
 (TEL. 03-5778-1070)

2030 ビジョンおよび中期経営計画（2021～2025 年度）策定に関するお知らせ

当社グループを取り巻く環境が大きく変化している中で、2030年にグループとしての「ありたい姿」を描き、その実現と持続可能な成長を目指すために何をすべきか、バックキャストで具体的な戦略や目標を設定することを目的として、下記のとおり「2030 ビジョン」および「中期経営計画（2021～2025 年度）」を策定しましたのでお知らせします。

記

1. 2030 ビジョン

“Engineering for Fusion” ～社会を繋ぐエンジニアリングをすべての未来へ～

これからの社会では、人、モノ、情報、インフラすべてがセンサーやネットワークを介して繋がり、それを実現するためのエンジニアリングは多様な技術の融合が求められています。

当社グループでは新技術への対応やオープンイノベーションにより深化させたエンジニアリング力の融合を通じて、情報通信基盤に留まらず、あらゆる社会インフラにソリューションを展開し、日本はもとよりグローバルレベルで未来の社会課題の解決に貢献することを目指します。

2. 中期経営計画（2021～2025 年度）

2030 ビジョンの実現に向けた当面5年間の戦略および業績目標を掲げた中期経営計画を策定しました。

2025 年度業績目標

売上高	営業利益額・率	ROE	EPS
6,300 億円	470 億円 (7.5%)	9.0%以上	280 円以上

なお、2030 ビジョンおよび中期経営計画の詳細は添付資料をご参照ください。

以 上

2030ビジョン・中期経営計画（2021～2025）



目次

I. 2030ビジョン

II. 中期経営計画（2021-2025）

III. 社名変更

大きな変革の時代へ

世界中の社会・経済で大きな変革が起きている。新型コロナウイルスにより世界中が未曾有の危機に陥る中で、ダイバーシティや人種問題など人権に対する意識は更に高まり、環境問題は人類共通の課題として目の前に広がっている。そのような中、技術革新はあらゆるビジネスを根本から変える力を持ち、衰退するビジネスがある一方で、新たなサービスが短期間かつグローバルレベルで拡大することも可能になってきた。SDGsが広く浸透するなど世界が直面する課題に対し、社会の意識が変化している。

◆ 社会の課題

環境破壊・資源の枯渇

- CO₂排出による地球温暖化、気候変動
- マイクロプラスチックによる生態系への影響
- 経済成長に伴う資源の枯渇

インフラ老朽化・自然の脅威

- 老朽化した社会インフラの更改・更新
- 多発する自然災害への備え
- 新型コロナウイルスによるニューノーマルへの対応

人口減少による過疎化・空洞化

- 少子高齢化、生産年齢人口減少の顕在化
- 地方の過疎化、高齢化の進展
- 市街地の空洞化による都市の衰退

◆ 産業・社会の変化

急速な技術革新

- 5Gから6Gへなどの情報通信技術の進展
- AI、ロボティクス技術による日常の変化
- DXによる新たな社会の兆し（Society5.0）

モノからコトへサービスの変化

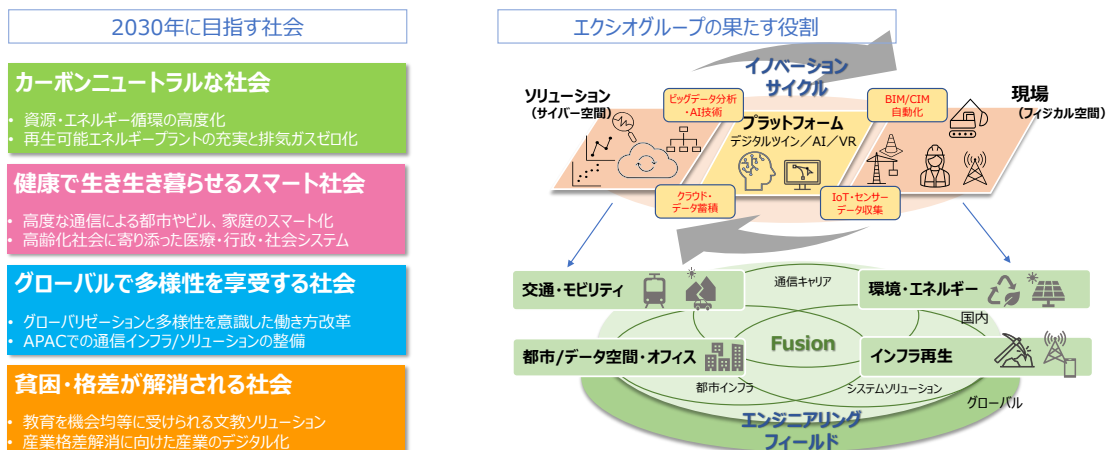
- XaaSなど、所有から利用へサービスの変化
- デジタルによる付加価値の提供
- ビジネスモデルの変化による新たな事業創出

社会の意識の変化

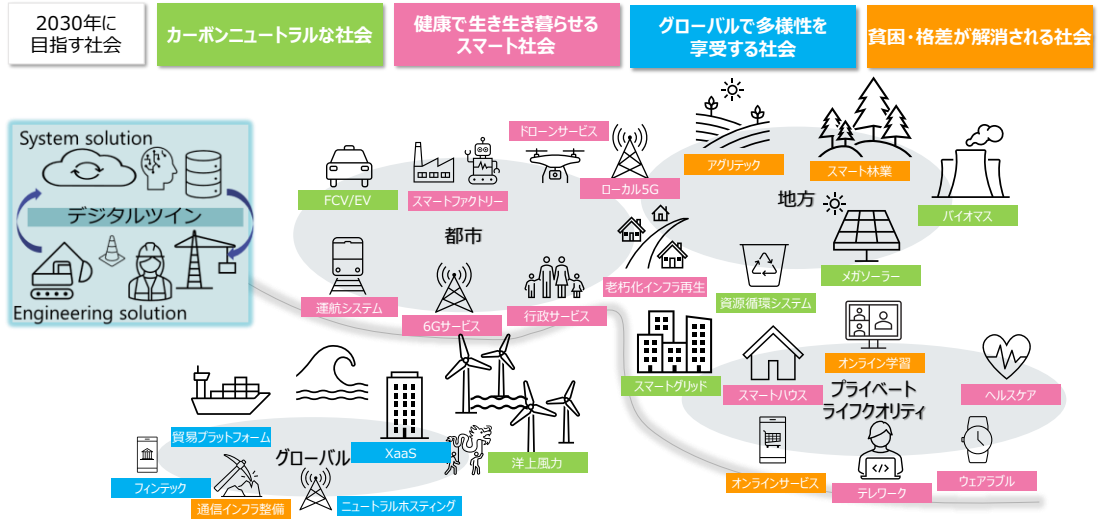
- LGBTQなど人権に対する意識向上
- ダイバーシティ&インクルージョンの進展
- SDGs、ESGは必須の指標

2030年に向けたエクシオグループの果たす役割

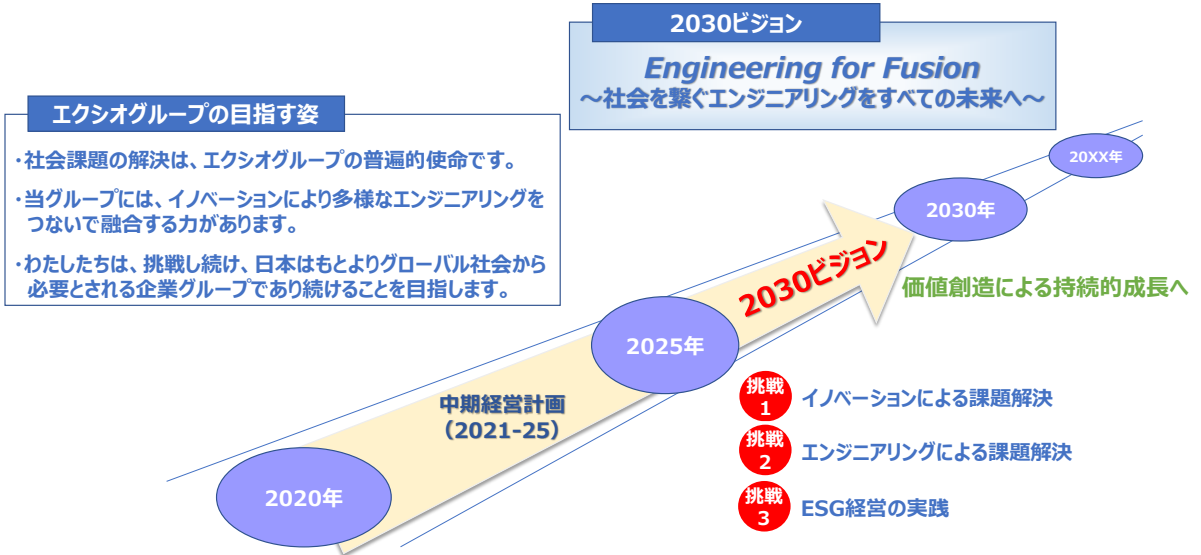
2030年に目指す社会を実現するため、エンジニアリングの現場をソリューションでイノベーションサイクルを循環させ、新しいエンジニアリングフィールドを広げていく。



2030年に目指す貢献領域



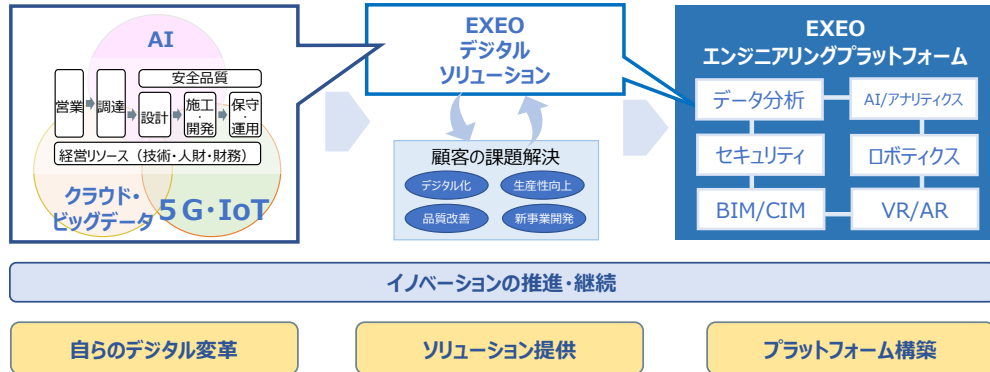
2030ビジョンについて



挑戦 1 : イノベーションによる課題の解決

イノベーションの推進、DX化によりエンジニアリングの標準化プラットフォームを構築

イノベーションの推進・継続により、自らのプロセス・バリューチェーンのDX化を進め、顧客の課題解決につながるEXEOデジタルソリューションとして提供し、将来は最適化されたエンジニアリングのプラットフォームを構築し提供する。



挑戦 2 : エンジニアリングによる課題の解決

多様なエンジニアリングフィールドを融合し新たな価値で課題を解決

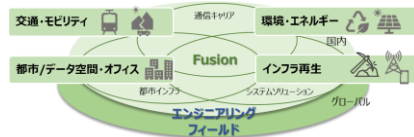
社会課題へのソリューション

交通・モビリティ

- 人材交流・物流増加に伴う公共インフラ整備
- 自動運転など5G/AI/ロボティクスや通信基盤整備

環境・エネルギー

- 地球温暖化対策の再生可能エネルギーの強化
- 資源リサイクルに向けた活動の活性化

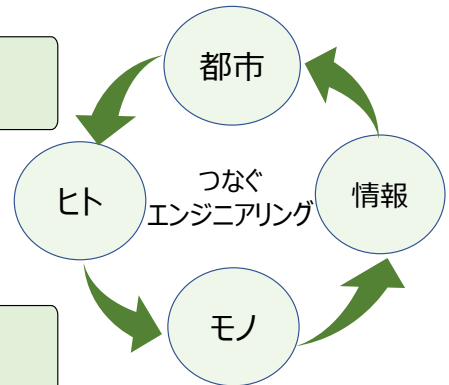


都市/データ空間・オフィス

- クラウドサービス利用増加に伴うデータセンタ増強
- スマートオフィス/スマートシティなど都市再開発

インフラ再生

- リニューアル/リノベーション需要への対応
- 老朽化インフラの更新、維持管理への対応



挑戦3 : ESG経営の実践

ESG経営の実践により企業価値向上を実現し、SDGsの達成に貢献

企業価値の向上・持続的な成長への貢献

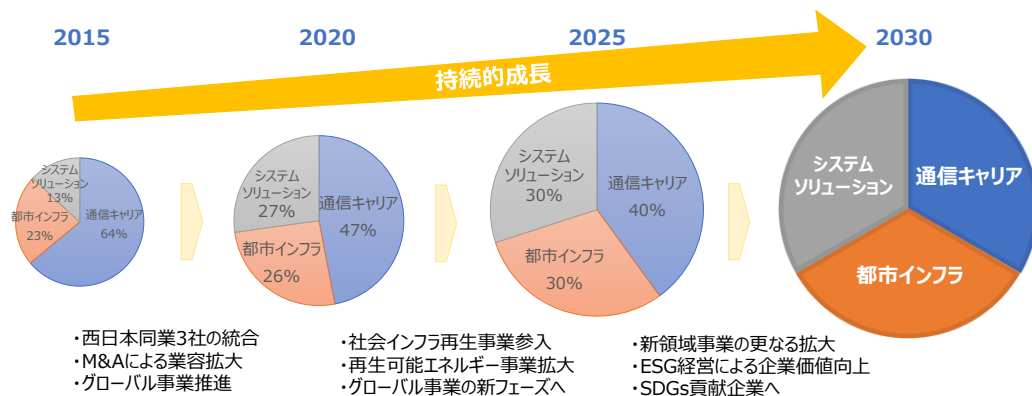
環境破壊・気候変動 → 再生可能エネルギー事業
 資源枯渇・廃棄物削減 → リユース事業
 老朽化インフラ → インフラ再生（リニューアル）事業
 多発する自然災害 → BCPソリューション
 生産年齢人口の減少 → ロボティクス・AI・自動化ソリューション
 社会のスマート化 → インフラプラットフォーム
 必須の社会生活基盤 → 情報通信インフラ事業

- ・持続可能な環境配慮経営
- ・働き方改革/ダイバーシティ推進
- ・コーポレートガバナンスの継続・強化



2030年に目指すポートフォリオ

景気や社会情勢に左右されない強固な経営基盤を構築するため、都市インフラおよびシステムソリューション事業を更に拡大し、2030年度の各セグメントの売上高を同等程度にまで成長させる。



エクシオグループは、
“Engineering for Fusion”を通じて
皆さまとともに、社会課題の解決を目指します。

～社会を繋ぐエンジニアリングをすべての未来へ～

I. 2030ビジョン

II. 中期経営計画（2021-2025）

III. 社名変更

中期経営計画（2016-2020）の振り返り

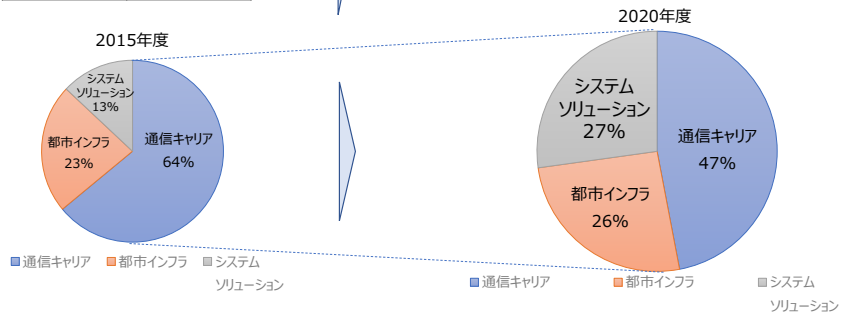
各経営指標について目標を上回る成果を上げた。
各事業のポートフォリオについては、都市インフラおよびシステムソリューションの事業拡大により当初計画した比率（50:25:25）を達成

【経営指標】

業績目標	2015
売上高	2,874億円
営業利益	184億円 (6.4%)
ROE	8.2%
EPS	125円

2020中期目標	2019実績	2020実績
5,000億円	5,245億円	5,733億円
330億円 (6.6%)	311億円 (5.9%)	366億円 (6.4%)
8.5%	5.9%	8.8%
210円	139円	217円

【事業ポートフォリオ】



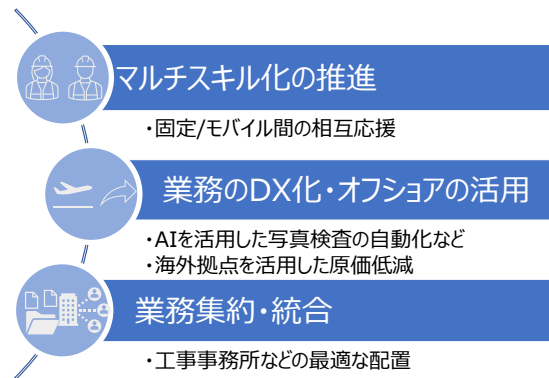
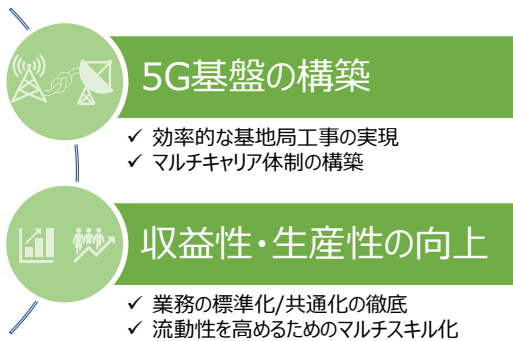
中期経営計画の目標

2025年度 業績目標

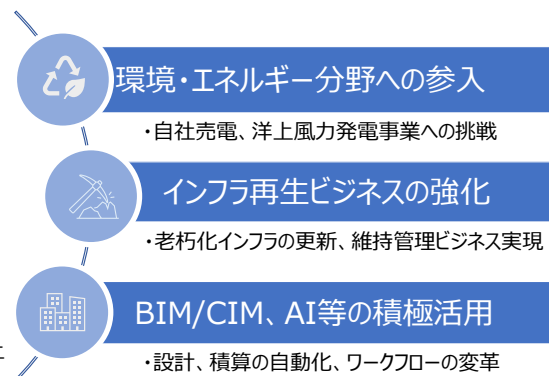
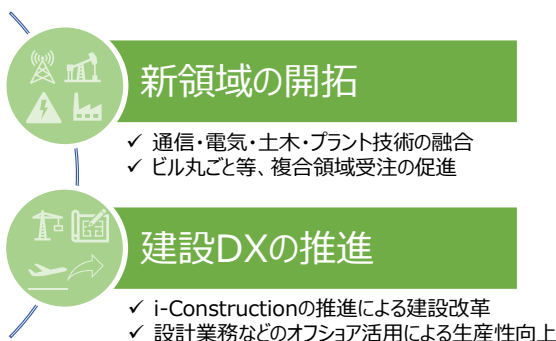
- 売上高 6,300億円
- 営業利益 470億円 (7.5%)
- ROE 9.0%以上
- EPS 280円以上



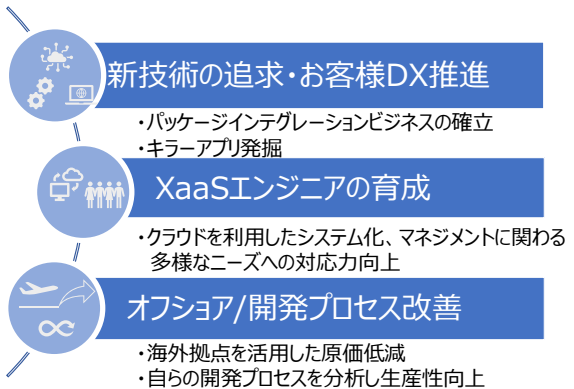
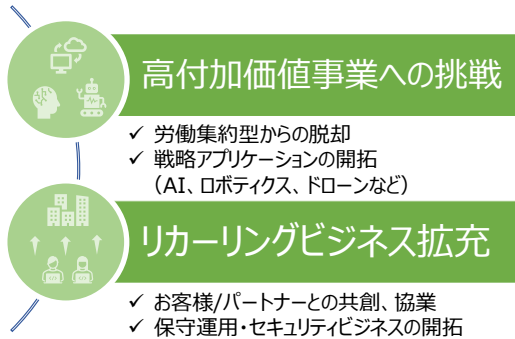
お客様の最適な通信環境構築パートナーへ



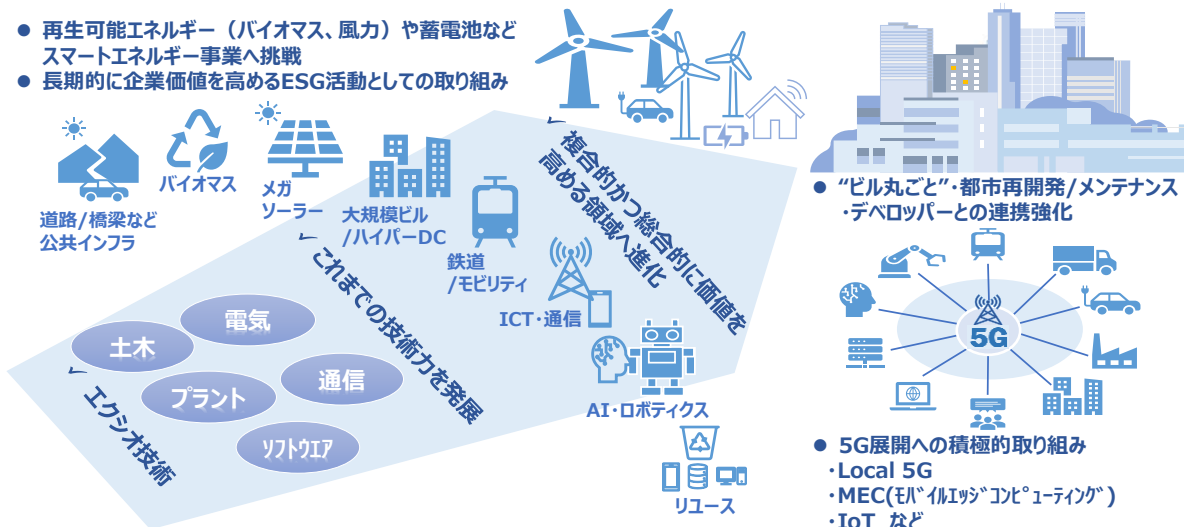
レジリエンスを高めるエンジニアリング提供



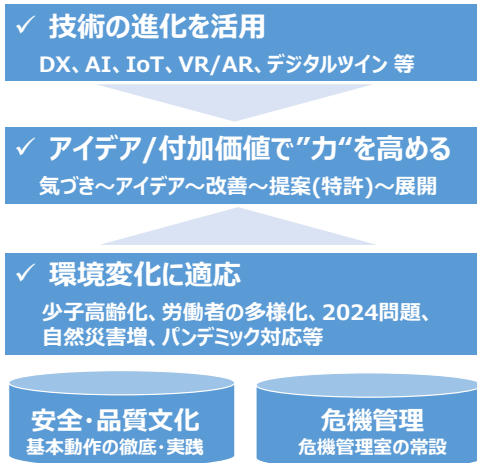
ソリューションプロバイダへの進化



- 再生可能エネルギー（バイオマス、風力）や蓄電池などスマートエネルギー事業へ挑戦
- 長期的に企業価値を高めるESG活動としての取り組み



経営基盤：安全・品質・BCP



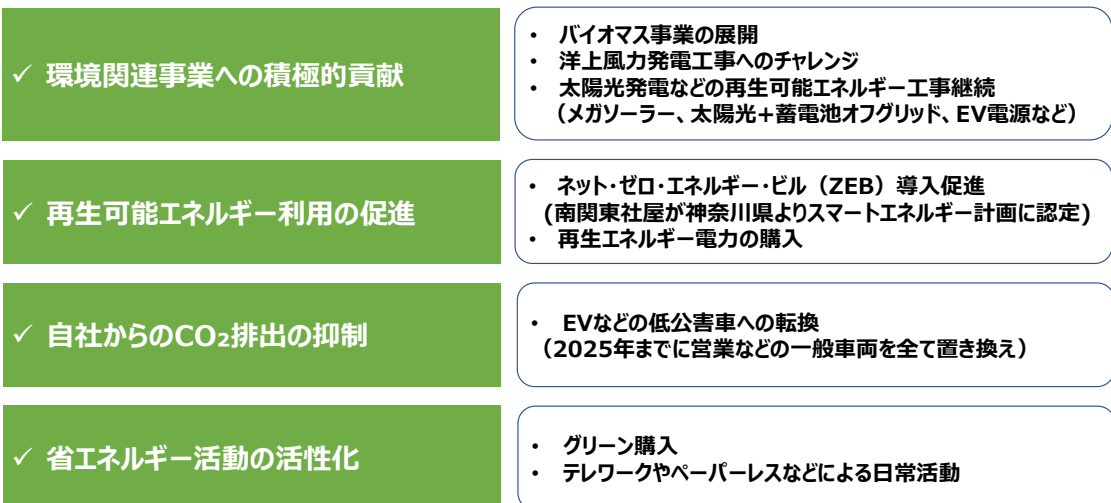
- ◆ IoTとクラウドで現場の安全を監視
今後はDX、AIでさらなる充実へ
＜工事監視センタ＞
- ◆ 5G工事に適した作業安全、工期短縮、
環境配慮などを一気に解決
＜くるりん波＞ 特許取得済
- ◆ リアルタイムの安全作業を視える化
バイタルやAI活用でさらなる進化へ
＜スマートヘルメット＞
- ◆ 災害時に必要な100Vを即確保！
電源車やレンタルエンジンと簡単接続！
＜エネコンポ＞ 特許出願中



安全・品質

災害対策

経営基盤：環境・エネルギー



経営基盤：人財戦略

✓ 事業環境変化への適応力強化

- 即戦力人財の採用強化
- オンライン研修の充実による早期人財育成

✓ 労働生産性の向上

- デジタル化に必要な高度IT人財の確保
- 労務管理の見える化による労働時間の適正化

✓ 多様な価値観を認めあう風土醸成

- ダイバーシティ&インクルージョンの更なる推進
- グローバルを含めたグループ全体での人財交流

✓ ニューノーマル時代の働き方への対応

- 新しい働き方に沿った人事制度の再構築
- 個人の能力・キャリア志向に沿った育成・配置

経営基盤：財務戦略

✓ 安定的な財務基盤の確保

- 高水準の自己資本比率を継続
- 普通社債・グリーンボンドを中心とした有利子負債主体での資金調達を実施

✓ 成長のための積極的な投資

- M&A、イノベーション推進、デジタル投資の3本柱で成長領域・事業強化に重点投資

✓ 安定的かつ機動的な株主還元

- 安定的かつ継続的に配当
- 機動的な自己株式取得を継続

経営基盤：グループ経営

✓ 柔軟かつ機動的なグループ運営の実現

- 事業領域/エリアに基づく子会社の統合/分割
- 得意領域への特化による施工力/開発力の最大化
- グループ内人財の柔軟な活用・リソースシフト

✓ グループの強みを活かしたシナジーの発揮

- 各社のプレゼンスを活かした地域密着の事業展開
- 全体最適の視点でのグループ会社事業評価
- 安心安全等、グループ内ベンチマークの活用

















経営基盤：DX推進

✓ デジタル化による経営基盤の強化

- ServiceNow・RPA等による業務プロセスの自動化
- BI・アナリティクスツールによる経営判断の迅速化
- セキュリティ強化によるセキュアな業務運営
- ニアショア/オフショア活用による生産性向上

✓ ソリューションを通じた新たな価値の構築

- BIM/CIMによるスマートコンストラクションの実現
- セキュリティ商材のサービス化による収益拡大
- 海外での新領域ビジネスモデルの国内還流による新サービスの創出

	取組課題	関連するSDGs項目
Environment (環境)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 再生可能エネルギーへのシフト ■ 脱炭素、脱CO₂の取り組み ■ 資源循環型社会への貢献 ■ 環境に優しいグリーン製品活用 	     
Social (社会)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域社会への貢献 ■ 事業の安全・品質の確保 ■ ダイバーシティ&インクルージョンの推進 ■ 働き方改革の推進 	     
Governance (ガバナンス)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 透明性の高いマネジメントの実現 ■ コンプライアンスの徹底 ■ リスクマネジメントの徹底 	   

I. 2030ビジョン

II. 中期経営計画 (2021-2025)

III. 社名変更

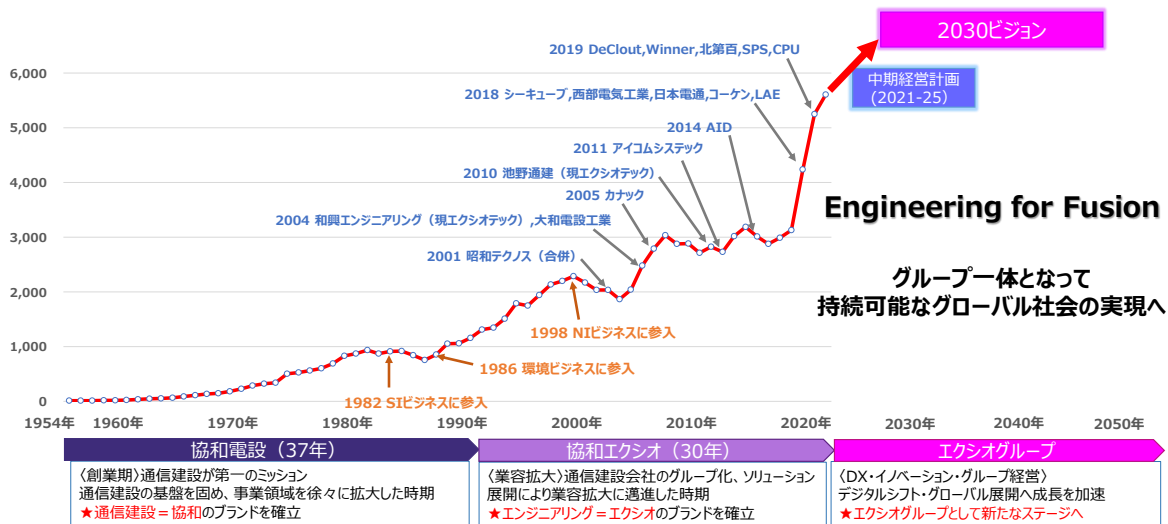
「協和エクシオ」から「エクシオグループ」へ

グループ中核会社として、グループ会社とともに経営リソースと技術を結集して新たな価値を創造し、大きく成長したいという思いを込めて、次のとおり社名変更いたします。

- 新商号 エクシオグループ株式会社 (EXEO Group, Inc.)
- 変更時期 2021年10月1日

※商号変更については必要な株主総会決議を取得後実施いたします。

これまでの歩みと今後の展開



Engineering for Fusion

社会を繋ぐエンジニアリングをすべての未来へ

